

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5009	(H.22)No.	5009
-----------	------	-----------	------

事務事業名		百々生活排水処理施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		下水道維持室		雪岡 太	63-7102
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	名張市百々生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	3	その他の生活排水処理
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	225501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	百々生活排水処理施設管理費	
項	同和对策費	(小事業名)	
目	生活排水処理施設管理費	百々生活排水処理施設管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
処理施設の維持管理	

めざす効果(事業目的)
百々地区23戸の生活排水処理施設について、適正な管理をし、快適な生活環境の創造と水質保全を目的とする

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 光熱水費 552千円 修繕料 597千円 電話料 30千円 手数料 619千円 保険料 1千円 委託料 1,774千円	[事業内容(事業量)・事業費] 消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 3,000千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,670千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 3,000千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,670千円	消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 3,000千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,670千円	消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 3,000千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,670千円	
直接事業費	3,573千円	5,926千円	5,926千円	5,926千円	5,926千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他(使用料)	970	1,013	1,013	1,013	1,013	
一般財源	(0) 2,603	4,913	4,913	4,913	4,913	
人工数						
職員	0.12人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	
臨時職員等		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	
概算人件費	(0千円) 876千円	1,253千円	1,253千円	1,253千円	1,253千円	
+ 総事業費	(0千円) 4,449千円	7,179千円	7,179千円	7,179千円	7,179千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	戸	22	22	22	22	22
	実績		22	22	22		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 施設の現状維持のための維持管理	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5027	(H.22)No.	5027
-----------	------	-----------	------

事務事業名		河川維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		下水道維持室		雪岡 太	63-7102
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	3	その他の生活排水処理
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	400503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	河川維持費	
項	河川費	(小事業名)	
目	河川維持費	河川維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
里地区排水機場維持管理 八幡工業団地内排水管維持管理 美旗排水管維持管理	

めざす効果(事業目的)
蔵持町里地区へのシャックリ川の浸水対策に伴う排水ポンプ施設及び汚水排水管の適正な機能の維持管理

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 光熱水費 178千円 修繕料 61千円 電話料 32千円	[事業内容(事業量)・事業費] 燃料費 10千円 光熱水費 240千円 修繕料 700千円 電話料 75千円 手数料 315千円 保険料 3千円 委託料 180千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			燃料費 10千円 光熱水費 240千円 修繕料 700千円 電話料 75千円 手数料 315千円 保険料 3千円 委託料 180千円	燃料費 10千円 光熱水費 240千円 修繕料 700千円 電話料 75千円 手数料 315千円 保険料 3千円 委託料 180千円	燃料費 10千円 光熱水費 240千円 修繕料 700千円 電話料 75千円 手数料 315千円 保険料 3千円 委託料 180千円
直接事業費	271千円	1,523千円	1,523千円	1,523千円	1,523千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 271	1,523	1,523	1,523	1,523
人工数	職員 0.02人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 146千円	438千円	438千円	438千円	438千円
+ 総事業費	(0千円) 417千円	1,961千円	1,961千円	1,961千円	1,961千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
	実績						
目標							
	実績						
目標							
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 管路の現状維持のための維持管理のみ。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5033	(H.22)No.	5033
-----------	------	-----------	------

事務事業名		小波田川流域排水管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		下水道維持室		雪岡 太	63-7102
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	3	その他の生活排水処理
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	411501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	小波田川流域排水管理費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	流域排水管理費	小波田川流域排水管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
管路の維持管理	対象区域の適切な排水の確保

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	修繕料 25千円 手数料 184千円 保険料 4千円		消耗品費 5千円 修繕料 26千円 手数料 185千円 保険料 3千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
直接事業費	213千円	493千円	493千円	493千円	493千円	493千円	493千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
その他(基金繰入、積立金利息)	213	493	493	493	493	493	
一般財源	(0)	0	0	0	0	0	
人工数	職員	0.02人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円)	146千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円	1,168千円
+ 総事業費	(0千円)	359千円	1,661千円	1,661千円	1,661千円	1,661千円	1,661千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
	実績						
目標	実績						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 管路の現状維持のための維持管理	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7709	(H.22)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名		施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		下水道維持室		雪岡 太	
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	20年度	~	平成	年度
都市計画法・下水道法・浄化槽法等					

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	661901
公共下水道事業特別会計	(中事業名)	
款 戸別浄化槽事業費	施設管理費	
項 戸別浄化槽事業費	(小事業名)	
目 施設管理費	施設管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
長瀬地区戸別浄化槽維持管理	

めざす効果(事業目的)
整備された長瀬地区戸別浄化槽について、適正な管理をし、快適な生活環境の創造と水質保全を目的とする。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ・修繕費 17千円 ・法定検査手数料 314千円 ・施設維持管理手数料3,842千円 ・料金徴収システム使用料 272千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・修繕費 400千円 ・法定検査手数料 327千円 ・施設維持管理委託料6,420千円 ・料金徴収システム使用料 273千円 ・消耗品 他 38千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
	4,445千円	7,458千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
直接事業費	4,445千円	7,458千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 4,445	7,458	6,000	6,000	6,000	
人工数						
職員	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人	
臨時職員等	0.00人					
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円) 4,445千円	7,458千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	基	27	50	86		
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	市に寄付を受けた浄化槽11基を含め平成22年度で計画目標の86基を設置。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 戸別浄化槽の維持管理業務。	